

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	7004
-----------	-----------	------

事務事業名		簡易水道事業特別会計	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
上下水道部	経営総務室	森岡 千枝	63-4114
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 19 年度 ~ 平成 21 年度	名張市簡易水道条例、名張市簡易水道事業特別会計条例	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	2	上水道
	小施策	3	健全経営の推進
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード
簡易水道事業特別会計		(中事業名)
款	簡易水道施設整備費	簡易水道統合整備事業
項	簡易水道施設整備費	(小事業名)
目	簡易水道統合整備事業	簡易水道統合整備事業

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>対象者: 赤目、長瀬、国津地区簡易水道給水区域住民 補助金等: 簡易水道等施設整備費国庫補助金交付要綱 本事業は、赤目、長瀬及び国津の3簡易水道の基幹施設の整備改良し上水道事業に統合を行いました。 H19年度: 4,967千円、H20年度: 98,094千円、H21年度: 119,750千円 総事業費 計223,161千円</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>上水道事業に統合を行うことにより、経営の効率化と維持管理性の向上を図り、安定給水を確保します。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	長瀬簡易水道浄水施設外改良工事 一式 国津簡易水道導水管施設連絡管布設工事 一式		補助金・交付金		
			その他 ()		
	平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)		
事業費 (千円)	(45,390) 119,750				
の 財 源 内 訳	国庫支出金	(11,109) 29,715			
	県支出金				
	地方債	(33,300) 89,100			
	その他()				
	一般財源	(981) 935			
人工数	職員(人)				
	臨時職員等(人)				
人件費 (千円)					
総費用 + (千円)	(45,390) 119,750				

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	%	50	100			
	実績		30.0	100.0			
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	順調に推移しています。 簡易水道料金は上水道料金へ移行するため今後H22～26年度の間、段階的に引き上げていきます。(地元説明会実施、名張市水道給水条例改正済み)						

6. 事業を取り巻く環境

<p style="text-align: center;">事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)</p> <p>上水道への統合により、地方公営企業の法非適から法適に移行しました。</p>	<p style="text-align: center;">市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見</p>
--	---

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄
協働等は実践していますか <input type="text"/>	協働等の主な相手先について <input type="text"/>	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) <input type="text"/>	協働等の今後の取組について <input type="text"/>	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか <input type="text"/>		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか <input type="text"/>		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか <input type="text"/>		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか <input type="text"/>		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

<p>総合評価(事業の展開方法) <input type="text"/></p> <p>(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など <input type="text"/></p> <p>(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など <input type="text"/></p>	<p style="text-align: center;">特記事項</p> <input type="text"/>
--	--

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.

(H.22)No.

7005

事務事業名		農業集落排水事業特別会計			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
上下水道部		経営総務室		森岡 千枝	63-4114
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	1	下水道等
	小施策	2	農業集落排水処理施設の整備
重点施策コード		4-5.下水道事業の計画的な推進	

2. 予算区分

会計区分		事業コード
農業集落排水事業特別会計		(中事業名)
款		
項		(小事業名)
目		

3. 事務事業の概要

事業概要	
赤目南部農業集落排水施設整備 計画処理人口:1,930人、管路延長:6,960m、 汚水処理施設(機能強化含む):1式 全体事業費:1,199,000千円、平成19年度:50,921千円、 平成20年度:234,510千円、平成21年度:264,082千円、 平成22年度:360,260千円 低コスト型農業集落排水施設更新支援事業 農業集落排水処理施設:9箇所 全体事業費:23,000千円、平成22年度:10,000千円、平成23年度:13,000千円	

めざす効果(事業目的)
農業集落排水処理施設を整備することにより、公共用水域や農業用排水の水質保全及び農村地域の生活環境の改善を図ります。 既存施設の低コストを図るため、設備診断により機能保全計画をたて全施設の最適整備構想の策定します。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)			
			市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	補助金・交付金	その他 ()		
	赤目南部農業集落排水施設整備費 264,082千円 総務管理費 139,063千円 公債費(元金) 107,415千円 公債費(利子) 78,310千円 基金積立金 17,435千円	赤目南部農業集落排水施設整備費 360,260千円 総務管理費 153,582千円 低コスト型農業集落排水施設更新支援事業 10,000千円 公債費(元金) 115,934千円 公債費(利子) 79,858千円 基金積立金 19,166千円 予備費 10,000千円	平成23年度(計画)	平成24年度(計画)	平成25年度(計画)	
			赤目南部農業集落排水施設整備費 比奈知農業集落排水施設整備費 総務管理費 低コスト型農業集落排水施設更新支援事業 公債費(元金) 公債費(利子) 基金積立金 予備費	比奈知農業集落排水施設整備費 総務管理費 公債費(元金) 公債費(利子) 基金積立金 予備費	比奈知農業集落排水施設整備費 総務管理費 公債費(元金) 公債費(利子) 基金積立金 予備費	
事業費(千円)	606,305	745,098	773,036	691,000	702,598	
の財源内訳	国庫支出金	112,615	180,000	177,500	143,100	143,100
	県支出金	16,500	18,397	28,000	29,200	23,600
	地方債	161,000	201,700	231,000	179,900	187,000
	その他(分担金等)	178,835	215,804	212,021	221,954	206,105
	一般財源	137,355	129,197	124,515	116,846	142,793
人工数	職員(人)					
	臨時職員等(人)	0.56	1.86			
人件費(千円)	916	3,702				
総費用+(千円)	607,221	748,800	773,036	691,000	702,598	

人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	農業集落排水施設を利用できる市民の割合 (人口普及率)	%	8.9	9.3		11.0
	実績						
活動指標	目標	農業集落排水施設に接続している人口	人	6,539	6,856		8,230
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	引き続き、農業集落排水事業の促進を図ります						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
生活污水により水質悪化し、生活環境の劣化が進んでいます。 補助金制度から交付金制度に改正。	事業の継続が求められています。 処理施設の老朽化が進んでおり維持管理の計画が求められています。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか <input type="text" value="実践していない(適当ではない) (へ)"/>	協働等の主な相手先について <input type="text"/>
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) <input type="text"/>	協働等の今後の取組について <input type="text" value="市が直接実施"/>
	備考欄
(2) 現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="現在の手法が妥当である。"/>	外部へ業務委託等により事業の推進を図っています。
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか <input type="text" value="現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である"/>	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である"/>	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか <input type="text" value="できる(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)"/>	未接続への普及促進のPR。

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) <input type="text" value="継続(現行どおり) (理由 (2)へ)"/>	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など <input type="text"/>	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 平成19年から計画通り進めており、来年度が完了年度になっており事業実施していきます。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	7008
-----------	-----------	------

事務事業名	公共下水道事業特別会計		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
上下水道部	経営総務室	森岡 千枝	63-4114
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 11 年度 ~ 平成 年度	都市計画法・下水道法・浄化槽法等	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	1	下水道等
	小施策	1	公共下水道の整備
重点施策コード 4-5. 下水道事業の計画的な推進			

2. 予算区分

会計区分	事業コード
公共下水道事業特別会計	(中事業名)
款	
項	(小事業名)
目	

3. 事務事業の概要

事業概要	
中央処理区及び南部処理区を合わせた全事業費618億円の内、平成22年度は約14億円の投資事業。 ・第2系水処理施設建設工事 ・名張地区市街地面整備、桔梗が丘第2・3汚水処理区域接続幹線管工事、実施設計 ・住宅団地管路施設老朽化に対して、長寿命化対策を含めた改築事業実施設計 市町村整備型戸別浄化槽72基の事業費84,480千円の内、平成22年度(最終年度)は28,425千円の投資事業。 ・長瀬、上長瀬地区戸別浄化槽設置工事	

めざす効果(事業目的)
公共下水道、戸別浄化槽の整備により、市民の快適な生活環境の創造と公共水域の水質保全を目的としています。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)		平成22年度 (計画・6月補正後予算)		現在の実施手法(複数選択可)																				
	主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] H.20繰越分222,039千円 ・第2系水処理施設建設、名張地区面整備(平尾・丸之内・中町外) H.21年現年分761,880千円 ・第2系水処理施設建設、名張地区面整備(平尾・丸之内・松崎町外)、詳細設計(新町・桔梗が丘西外)、長寿命化計画(桔梗が丘) H.21年現年分戸別浄化槽27,910千円 ・長瀬、上長瀬地区戸別浄化槽設置(23基) H.22年度への繰越明許費 317,151千円 ・第2系水処理施設建設、名張地区面整備(平尾・丸之内・松崎町外)		[事業内容(事業量)・事業費] 855,000千円 ・名張地区面整備(平尾・朝日町・松崎町外)及び詳細設計(朝日町)外、住宅団地接続幹線(桔梗が丘第2・3汚水処理場区域) 469,660千円 ・住宅団地管路施設老朽化に対して、長寿命化対策を含めた改築事業実施設計(桔梗が丘) 21,200千円 ・長瀬、上長瀬地区戸別浄化槽設置(22基)28,425千円		<table border="1"> <tr> <th colspan="3">現在の実施手法(複数選択可)</th> </tr> <tr> <td>市が直接実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>業務委託(全部・一部)により実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助金・交付金</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他 ()</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			現在の実施手法(複数選択可)			市が直接実施			業務委託(全部・一部)により実施			指定管理			補助金・交付金			その他 ()	
現在の実施手法(複数選択可)																									
市が直接実施																									
業務委託(全部・一部)により実施																									
指定管理																									
補助金・交付金																									
その他 ()																									
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)																				
事業費 (千円)	(222,039)	1,204,460	1,909,528	1,518,197	1,920,471	2,299,784																			
の 財 源 内 訳	国庫支出金	(94,713)	374,920	649,038	214,800	363,400	483,200																		
	県支出金		6,570	7,445	3,206	3,173	3,139																		
	地方債	(105,800)	359,900	623,600	567,600	779,900	829,400																		
	その他()	(11,575)	392,583	314,050	468,545	484,866	1,118,537																		
	一般財源	(9,951)	305,490	447,567	385,626	420,152	3,648																		
人 工 数	職員(人)		17.00	17.00	17.00	17.00	17.00																		
	臨時職員等(人)		0.93	0.93	0.93	0.93	0.93																		
人件費 (千円)		126,987	132,172	121,580	131,020	138,140																			
総費用 + (千円)	(222,039)	1,331,447	2,041,700	1,639,777	2,051,491	2,437,924																			

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	公共下水道を利用できる市民の割合 (人口普及率)	%	-	-	-	-
	実績			15.8	16.1		
成果指標	目標	公共下水道に接続している人口	人	-	-	-	-
	実績			11,344	11,778		
活動指標	目標	BOD値シャックリ川町田橋(年平均)	mg/l	-	-	-	-
	実績			3.0	2.3		
考察及び今後の対応方針	引き続き、公共下水道の普及拡大の促進を図ると共に、効率的で健全な公共下水道経営に取り組んでいきます。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
公共下水道整備が社会資本整備総合交付金(水の安全・安心基盤整備)による事業になり、整備計画の成果目標、定量的指標を公開していくことから、今後も公共下水道整備によるアウトカム効果を図ります。	名張地区市街地は下水道未整備であり、また、大規模住宅団地の汚水処理施設は老朽化が進んでいることから、それぞれの地域住民から公共下水道の整備が要望されています。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ) ▼	協働等の主な相手先について ▼	外部(下水道事業団・技術センター・コンサルタント)へ業務委託等により事業の進捗を図っています。
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) ▼	協働等の今後の取組について 市が直接実施 ▼	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。 ▼		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である ▼		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか できる(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか できる(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼		下水道整備に合わせ水道の管路整備を図っています。
		社会資本整備総合交付金に係る効果促進事業の活用。
		未接続への普及促進のPR及び支援。

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行どおり)(理由 (2)へ) ▼	
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など	
社会資本整備総合交付金(水の安全・安心基盤整備)に係る5ヶ年の整備計画を策定し、事業実施をしていきます。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	7012
-----------	-----------	------

事務事業名	水道事業会計		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
上下水道部	経営総務室	森岡千枝	63-4114
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	2	上水道
	小施策	3	健全経営の推進
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード
水道事業会計	(中事業名)
款	
項	(小事業名)
目	

3. 事務事業の概要

事業概要
・名張市水道事業基本計画に基づき、業務委託を推進するとともに上水道、下水道部門の連携を強化するなど経営の効率化、合理化を進めます。

めざす効果(事業目的)
持続可能な水道事業経営及び安心安全な水道サービスの提供

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)		平成22年度 (計画・6月補正後予算)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
主な事業の実績・計画	老朽化施設・管の更新・改良等 <H20繰越分> 資本的支出168,847千円		老朽化施設・管の更新・改良等 <H22現年分> 収益的支出1,663,561千円 資本的支出870,228千円		市が直接実施		
	<H21現年分> 収益的支出1,507,948千円 資本的支出844,025千円				業務委託(全部(一部)により実施)		
	<H.22年度への繰越明許費 140,206千円>				指定管理		
					補助金・交付金		
					その他 ()		
事業費 (千円)	(168,847)	2,141,889	2,299,349	2,133,137	2,186,695	2,215,298	
の 財 源 内 訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他()	(168,847)	2,058,973	2,216,733	2,050,037	2,103,095	2,133,006
一般財源		82,916	82,616	83,100	83,600	82,292	
人工数							
職員(人)		30.00	31.00	31.00	28.00	28.00	
臨時職員等(人)		3.00	3.00	3.00	2.00	2.00	
人件費 (千円)	210,085	234,440	234,440	210,840	210,840	210,840	
総費用 + (千円)	(168,847)	2,351,974	2,533,789	2,367,577	2,397,535	2,426,138	

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	%	-	-	-	-	93.0
	実績		100.3	100.7			
成果指標	目標	%	-	-	-	-	56.0
	実績		53.7	53.9			
活動指標	目標	%	-	-	-	-	2.4
	実績		1.7	1.9			
考察及び今後の対応方針	総収支比率は、総収益を総費用で除した割合を示し、企業の収益的分析の代表的数値とされています。この比率は、損益計算上、収益で費用を賄うことができるかどうかを示すものであり、健全な経営状況を維持するため、95%以上の比率を目指します。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
給水人口の減少、市民の節水意識の向上及び景気低迷による事業系の使用量減少により、有収水量の減少が見込まれます。	水道料金を上げることは安易過ぎます。施設の老朽化はわかりませんが、収入に見合った支出をするべきです。収入を増やす方法、支出を抑える方法を一般に問いかけてはどうですか。【パブリックコメント】

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ) ▼	協働等の主な相手先について ▼	経営の合理化・効率化、業務委託の推進
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) ▼	協働等の今後の取組について 市が直接実施 ▼	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか できる(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼		クリーンエネルギーの導入調査・研究
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼		水道料金・体系の見直し、業務委託の推進
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか できる(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼		資源の有効活用(建設副産物の再利用)
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか できる(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(事務改善)(今後の展開方法 (1)・(2)へ) ▼	
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など 営業部門の外部委託の推進	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与し、さらなる経営の合理化・効率化をおこなったうえでの水道料金・体系の見直しの検討	